

基本情報

需要家	高松市
事業の実施場所	香川県高松市
施設の名称 (需要家の法人名 + 建物の名称)	高松市香東川浄化センター
太陽光発電設備の導入方法	オンサイトPPAモデル
導入設備	太陽光発電設備：1,071.8kW (太陽光パネルの出力) 754.95kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：15.36kWh (蓄電容量)
稼働開始時期	2024年2月から発電開始
総事業費 (税抜)	非公表
平均の年間CO ₂ 削減率 (削減量)	24.05% (494.72t-CO ₂ /年)

事業目的・概要等

Sun Trinity A合同会社は、住友商事及び四国電力が日本国内の太陽光発電開発の為に2022年1月に設立した「Sun Trinity合同会社」傘下の特別目的会社であり、住友商事及び四国電力が長年培ってきた電気事業の知見や幅広い事業基盤を活かし、需要家の再エネ利用促進に向けて取り組んでいる。ピークカットや太陽光余剰電力の最大活用等を可能とする蓄電システムの導入によるストレージバリエーションの実現と、需要家が求める経済条件との同時達成には補助事業の活用が重要な要素となる。本事業活用で実現性を向上させ、カーボンニュートラル社会の早期実現を図ることが主な狙いである。

また、蓄電システムには自立運転機能付PCSを搭載し、特定負荷の非常用電源として活用することで、需要家及び市民のレジリエンス強化も図る。

今後の再エネ導入に向けた取り組み

高松市は2030年までにCO₂を46%削減する目標を公表しており、太陽光発電設備(香東川浄化センターで使用する電力の再エネ化)及び蓄電池(隣接する遊休地が防災拠点となった場合に通信機器等を充電する非常用電源として活用)導入の本事業を有効施策として高松市ウェブサイト及びメディアを通じて発表。

また、香川県の自治体として初のPPA導入事例となることから、2024年1月30日に完工式及び記者会見を実施。これらの積極的な対外発信により、県内及び四国内の自治体や民間企業への水平展開が期待。

導入施設の外観



主な導入設備



太陽光パネル



パワーコンディショナ



屋外キュービクル